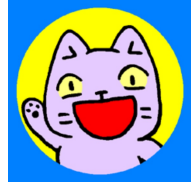




かいご げんば 介護の現場から



福祉の仕事は子供の頃から興味がありました。大人になり、本格的に福祉の仕事をするきっかけになったのは祖父が自宅で転倒し、骨折、下半身麻痺、そして認知症を患ったからです。最初は障がい者福祉の仕事に着きました。自閉症のグループホームの担当です。強度行動障害等がある人もいて、関わり方やケアの在り方等、日々苦戦しました。また、入居されている人の中には家族と疎遠になり、何十年も会えていないケースもありました。自傷他傷行為が激しく、頭を壁に打ち付けたり、自分の爪を剥がしたり、他者に暴力行為をしてしまったりする人もいました。スタッフが心身困憊している時、主任が「自分たちがここで諦めてはいけない。この人をケアできるのは自分たちしかないのだから」と言いました。その言葉で、チーム全体で支えあって頑張っていくと、団結力が強くなった気がしました。その後、自分自身が病気をしたこともあって高齢者福祉へ身を置くようになり、まず、特養で3年働きました。そして、グループホーム共生の里へ転職し、実践者研修やユニットリーダー研修等も取得し、キャリアアップもさせてもらっています。5年前に他界した天国の祖父に胸が張れる介護士になれるよう頑張ろうと思っています。

(グループホーム共生の里主任：E介護福祉士)

